

トモグラフィー電子顕微鏡用ソフトウェアの活用・普及促進 H25年度 第2回ソフトウェア活用セミナー

電子顕微鏡トモグラフィー等から得られる3次元像の解析は、生命科学や医療診断、材料工学、計測工学において重要な技術である。我々は3次元像の自動・高速処理を目指し立体像可視化プロトタイプソフトウェア HawkC の開発を行っており、現在『独立法人科学技術振興機構 研究成果展開事業（先端計測分析技術・機器開発プログラム）』において開発ソフトウェアの普及促進と更なる改良を実施しているところです。今回の第2回ソフトウェア活用セミナーでは活用事例の紹介に加え、ユーザビリティの向上した新しい輪郭抽出機能をご紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。

■日時 2014年3月3日（月） 13:00～15:00

■場所 大阪大学 超高压電子顕微鏡センター西棟 2F 会議室（2ページ目参照）
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 7-1

■参加費 無料

■プログラム

13:00 HawkC の概要とチュートリアル

株式会社ダイナコム 三浦順一郎

13:20 活用事例紹介①：電子線トモグラフィー像の可視化

大阪大学 御堂義博

13:35 活用事例紹介②：X線 CT 像の可視化

大阪工業大学 井上雄紀

13:50 輪郭抽出 新プラグインのご紹介

大阪工業大学 鎌倉快之

14:20 質疑応答、ソフトウェアのデモンストレーション（希望者）

■参加申込方法

2/28（金）までに電子メールにてお申込み下さい。件名に「活用セミナー参加申込」として、midoh@ist.osaka-u.ac.jp まで下記の情報をお送りください。①氏名（ふりがな）、②勤務先・所属（または大学名・学科名）、③住所・メールアドレス・電話番号・FAX 番号、④デモンストレーションを希望する・希望しない（いずれかを選択）。

■申込（問い合わせ）先

大阪大学 大学院情報科学研究科 集積システム診断学講座 御堂義博

E-mail: midoh@ist.osaka-u.ac.jp, TEL 06-6879-7813, FAX 06-6879-7812

■ソフトウェア開発メンバーの所属機関

